工業つ子

No. 127
—発行日—
2016. 03. 01
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

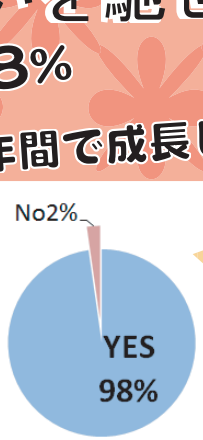
三年間の思いを馳せて

入学して良かった98%

三年間で成長した95%

三月と言えば別れの季節。長工でも三年生たちが別れを惜しむように卒業していきます。そんな彼らに毎年恒例の卒業生アンケートにご協力していただきました。

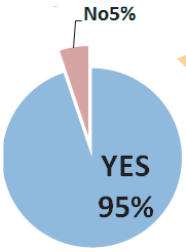
Q1 長工に入学して良かったですか。



去年の同アンケートと比べると同じくYESが98%、NOが2%！YESの中には「とても良い仲間や友達が出来た」や「行事が楽しかった」日常生活において楽しみを見つけた方や、「資格が取れた」「専門的な知識が学べた」など長工、工業高校ならではの理由もありました。今は苦に感じる資格や勉強も、卒業となれば良い思い出となるのかもしれません。

▲ 思い出深いスキー

Q2 三年間で成長しましたか。



三年間で「努力するようになった」「自分から動く事が多くなった」など成長したと実感するのは、人それぞれです。中には「物の見方が変わった」や「視野が広がった」など、社会に向けて準備が進んでいる方もいました。私達も成長したと誇れるものが出来るように頑張りたいです。

◀ ゴールに向かって…

Q3 楽しかった行事は？

一位 修学旅行 一一九
二位 体育祭 一〇八
三位 工業展 四二

体育祭と僅差の票数で、一位は百十九票を獲得した修学旅行でした。人生で一番楽しい時期の高校生ですから、テンションは大変なことになっていたことでしょう。

Q4 高校生活を色で表すと…

一位 赤 九八
二位 黄 四一
三位 青 三〇

赤が黄色に二倍以上の大差をつけ、見事に信号機カラーとなりました。赤が多いのは、やはり、情熱、燃えた、などの意見が多かったです。赤点をたくさんとったから、などという切ない意見もありました。

Q5 進学・試験に向けて頑張ったこと

一位 面接 一二二
二位 勉強 九五
三位 小論文 六

面接、勉強共に就職と進学に直結する事なので、三位の小論文とは大きな差をつけました。他にも、イメージトレーニングや挨拶など、精神面を鍛えていたという人もいました。

Q6 高校生活で見つけたもの！

一位 友達 九二
二位 努力 十二
三位 本当の自分 十一

圧倒的に多かったのが友達。入学当初は、周りの人が知らない人だらけで怖かったかもしれませんが、三年も経った今なら一生付き合っていけるような友達も出来たのではないでしょうか。

▲ 応援団からの第二応援歌

Ｉステよ永遠に… ▶

Q7 「今」だから言えること

「今」だから言えること、それは…

・もっと勉強していればよかった。
・今の学科は第三希望。
・最初の頃はつまらなかった。
・先生ありがとうございました。
・他の科にすればよかった。
・部活が辛い。

―など、後悔や過去の暴露、感謝の言葉など、十人十色とはよく言ったものです。

▲ これもまた思い出！！

Q8 卒業式に流してほしい曲

一位「三月九日」
二位「道」
三位「旅立ちの日に」

一番多かったのはレミオロメンの「三月九日」でした。この曲は卒業式の退場曲にもなっており、吹奏楽部の方々が心を込めて演奏してくれます。運命的で奇跡的なサプライズですね。他にも、旅立ちの日にやコブクロの桜が人気でした。そして校歌が聞きたいという意見も多くありました。

選挙権を考える

先日、新聞部で高校生と大人が十八歳選挙権について意見を交換し合う会に参加しました。

私は今まで選挙についてあまり関心がなく「まだ社会人じゃないから分からない」というふうに考えていました。だから大人から「十八歳に引き下げられたことで起こる問題は何だと思う」という質問に対して「まだ社会に触れていないのによく分からないまま投票することなのではないか」と答えました。しかし、いろいろ大人の方の話を聞く中で、本当に問題なのは「与えられた権利をよく分からないという理由で活用しないこと」だと考えるようになりました。昔、選挙権がなかった女性たちは苦労していました。そして、選挙権を求めて努力をし、ようやく手に入れたのです。今、若者は求めなくとも向こうから選挙権が与えられています。しかし、若者の投票率は低く、高齢者の投票率が高いのが現状です。当然、投票率の高い高齢者に向けての政策がたくさん行われています。私たちが一票を大切に投票に行くことで、投票率が上がり「若者は政治に対して関心がある」と捉えられ、若者に対しての政策ももっと行われるようになると考えられます。「行動していないのに後から何も言うことはできない」という話が出てきましたが、何事もわからないとか、否定をする前に自分で行動を起こすことが大切なのです。

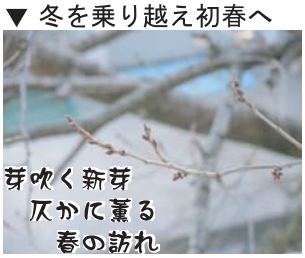
高校生も社会の一員です。私たちが得たこの権利に対して関心を持たなければいけないと思いました。

何事にも言えることですが、自分の身の回りのことをプラスに捉えて、うまく活用することが大切です。選挙権も持っているだけ使わなければ無いのも同然。自分の一票を大切にしたいですね。

（平松）

▼ 冬を乗り越え初春へ

今日の一枚 ～春には…～



春に向け草花や動物たちもせっせと準備を始めるこの季節。三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。新聞部一同心よりお祝い申し上げます。

この写真にある新芽は、体育館の傍にある桜の木のものです。私たちが入学する前からこの工業高校をご長寿さんでいるまた たくさんの花と共に新たな旅路を祝福してくれるものだと思います。この春に向けて力を蓄えている生命の息吹に感動を覚えました。

（溝上）

青春日記♪

昨日は厚着のいらない暖かい日和だったというのに、今日は重ね着必須の冷た～い風が吹く連日のジグザグ気候―には困ったものです。変温動物の皆々様、心中お察し致します。

先日、工作や実験などの体験があるということで科学館へと取材に行ったのですが、子供っていいなと感じました。目の前で起こる不思議な現象に目をきらきら輝かせ、エアホッケー等の対戦ゲームを全力で楽しむ子供たち。私だってホッケーしたい。まだまだ子供なんだかい！しかし、子供たちをかきわけて台を奪うような真似はできません。ふふっ、私は大人だから今回ばかりは譲ってあげるよ。後日、友人とゲームセンターへと向かいめちゃくちゃホッケーをしました。

さて、季節は春。いわゆる出会いと別れの季節です。卒業式とえばいやはり紅白餅。絶妙な美味しさですよね。果たして、高校の卒業式もあのおいしい餅を貰えるのか気になってしかたがありません。みなさんは紅と白、どちらが好みですか。たぶん味に変わりは無いと思うのですが、私的には、紅よりも少しだけ優しい味がする白い餅の方が好きです。

最後になりますが、三年生のみなさんご卒業おめでとうございます。新聞部には三年の先輩がおらず、取材でしか接する機会があまりませんでしたが、二年間お世話になりました。卒業後、長崎を出る方も出ない方もたまには長工に帰ってきてくださいね。

勿論、お土産を持って。

（松尾）

卒業編

てふ互生！！！ パート②

～段ボールの中身～

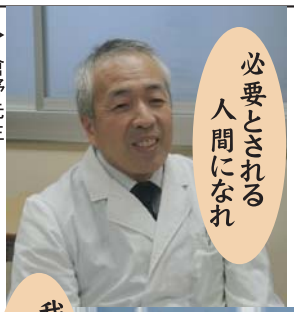
※ぜひ互業っ子で三年間を振り返って見てください！

思い出の数々 いろいろ

三年生の担任の先生にインタビュー

機械科 倉野 正先生

①クラスの思い出
②クラスと過ごした日々を色で
③卒業式で流したい曲
④生徒が成長したと思うこと
⑤先生が生徒から得たもの
⑥最後の宿題
⑦クラスに一言



▶倉野先生

必要とされる人間になれ

①欠席が少ないこと。②ゴールド―いまだかつてない爽やかさ。③ゴスペラーズ「星屑の街」。④本当の学級日誌を書けるようになった。⑤通勤してくる楽しさ。⑥必要とされる人間になれ。⑦3年間ありがとう。きっと幸せになってください。

機械システム科 田中基樹先生

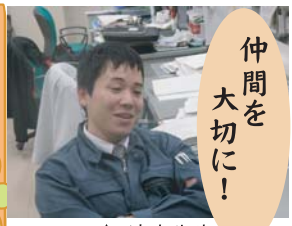
▲田中先生

我慢強さを学びました

①体育祭のパレードで0点（失格）になったこと。②赤―色々大変な事があり、表現しにくい。③ケツメイシ「手紙～未来～」。④いろんなことを自発的に出来るようになった。⑤我慢強さ。―理由は言わなくても分かるでしょう？⑥嫁を見つけろ。⑦卒業おめでとう。

電気科 清水 暁先生

①個性を出し、科全体が団結した体育祭。②赤。―すべきことをとことんやり抜いた情熱の色。③社会にでて行くにあたり勇気づけられる曲。④チームワーク。⑤たくさん言い切れないくらいあるがその中でも向上心！⑥今後十年間の人生設計。⑦せっかくの縁で巡り合えたので仲間を大切に！

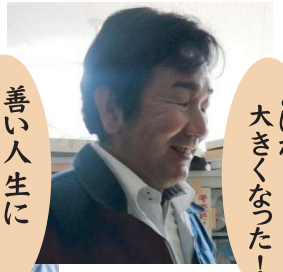


▲清水先生

仲間を大切に！

互業化学科 矢島貴文先生

①修学旅行



▲矢島先生

とにかく大きくなった！

▼本村先生

善い人生にしなさい

②学赤。―学年の色だから。③ZARD「負けないで」。④体。顔つき。とにかく大きくなった！⑤頑張っている生徒の姿。を見て、元気をもらい自分も頑張ろうと思えた。⑥工業化学と科学の違いはなんでしょう？⑦頑張れ！

建築科 西平隆行先生

①二級建築施工技術検定の補習。②桃色。③CHA-LA HEAD-CHA-LA。④空気が読めるようになった。⑤愛。⑥辛抱。⑦今を生きろ。

▼西平先生

今を生きろ

インテリア科 川上正実先生

①工業展のだしもの エスモダンス プラネタリウム。②青。③校歌。元気になるよう

◀松尾先生

楽しかった！

な歌。④何でも自分達でやる。⑤毎日楽しかった。楽しい日々をもらえた。⑥取り敢えず五年くらい頑張れ。⑦良い生徒にめぐまれて楽しい二年間でした。

▲川上先生

良い生徒に恵まれた

電子互学科 本村博信先生

①三年生からの担任で、「短い」印象。②オレンジ―暖かい雰囲気だから。③なし。④協力して作業に取り組むところ。⑤多様性。⑥善い人生にしなさい。⑦たまには顔を見せなさい。

情報技術科 松尾善久先生

①大人しいイメージだったけど、知るにつれて良くなったこと。②虹色。色々なことがあったから。③LECCA「my measure」。④進路実現に向けて、自分で考えて必要な情報を自分で集めるようになったこと。⑤何事にもチャレンジする生徒を見ていたらチャレンジしなくちゃいけないと思った。⑥少子化対策に貢献しなさい。提出期限は三十歳まで！⑦楽しかったぜぃ！

学年主任 渡海 健先生

▶渡海先生

顔つきが凛々しくなった

①体育祭など学校行事を積極的にやってくれたこと。進路実現の為の努力を自分達で考え実行してくれた。②虹色―自分なりの色の個性があるから。③拝啓～十五の君へ～―ここに入ってきたときのことを思い出して新たな道へと旅立っていってほしいから。④顔つきが凛々しくなった。……中身もどうかときかれると難しい。⑤若さや積極性。⑥何も考えずに十kmほど歩く―課題という訳ではないが身体を使って自分で周りの様子を探るという事をしてほしい。そして目と耳と足で感性を磨いていって欲しい。⑦第一に健康。そして次に周りから愛されるように努力して欲しい。

一年生な☆日々

みなさんこんにちは。暖かいようでまだ寒い、そんな季節の三月です。「別れの季節」という印象が強い三月。その代表といえるのが卒業式です。先輩方、今まで本当にご卒業おめでとうございます。

「別れ」は、また次の出会いを導くイベントでもあります。学生の次のイベントと言えば、進級してからのクラス替えや新たな後輩の入学等々。ところが長工にはクラス替えがない。これを嬉しいと取るか、つまらないと取るか。私としてはとても喜ばしいことです。小、中学校の間、クラス替えでは、毎年、一緒になりたい人とは同じクラスになれないというジンクスが僕の中にありました（中学三年でそれは破られましたが）。そんなこともあり、僕はクラス替えがあまり好きではありません。資格が取れる、就職できるなどと並んで、クラス替えがないというのも僕の中では長工の魅力のひとつです。

二年生という学年は、三年生を支え一年生に頼られる縁の下の力持ち的な学年だと思っています。そんな素敵な二年生になれるように頑張っていきたいです。そのためには、新聞部に後輩を引き入れ、自分は二年生になったんだという意識を高めたいです。（岡本）

編集後記

前号と同時進行で製作していた今号。ドタバタしながらもどうにか完成させる事ができました。遅れましたが、卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。新聞部一同先輩方のこれからのご活躍を心よりお祈りしています。